

活動名						どんぐり松ぼっくり工作											
概要		○どんぐりや松ぼっくりなどの自然物を使って、思い思いに作品をつくる。															
ねらい		○自由な発想で、思い思いに作品づくりを行うことによって想像力を養う。 ○道具の特徴や使い方を理解し、正しく安全に取り扱う。 ○よく観察することで、自然物に興味関心を抱くきっかけをつくる。															
関連教科等		生活・図画工作・理科・総合															
指導形態		①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行う															
時期		通年		時間帯		日中		対象		幼児～							
場所		創作棟		人数		～80人／1部屋		所要時間		1～2時間							
準備物						施設で準備できるもの						団体・個人で準備するもの					
						材料となる自然物、ホットボンド、ニッパー 木工用ボンド、のこぎり、はさみ、ポスカ						野外で自然物を採取して使用することも可能					
進め方・展開例																	
内容						留意点											
活動前		○打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数、材料の数、活動の進め方				○職員からの指導が活動の説明のみの場合は、活動の進め方や安全面、片づけ等について十分確認する。											
活動の説明		○例となる作品を見てイメージをつくる。 ○道具の使用方法を理解する。 ○作り方の流れを説明する。				○例となる作品と同じものを作るのではなく、自分の自由な発想で作るように伝える。 ○刃物やホットボンドの使用の注意事項を伝える。 ○創作説明用のシートを使用する。											
展開		○必要であれば、自然物を野外に取りに行く。 ○作品をつくる。 ・どんぐりや松ぼっくりのミニ人形 ・どんぐりゴマ ・どんぐりのやじろべえ ・松ぼっくりのモビール ・木で作るカブトムシとクワガタムシ 等				○危険な動植物への注意を促す。 (ハゼ、ウルシ、マムシ、スズメバチ等) ○刃物の取り扱いには十分注意させる。											
まとめ		○片づけをする。 ○お互いの作品で遊んだり、作品の発表をしたりして、お互いの作品のよさを認め合う。															
評価		○想像力をはたらかせて、思い思いの作品をつくることができたか。 ○道具の特徴を理解し、正しい使い方を習得することができたか。 ○身近な木の実や落ち葉等の自然物に、おもしろさや不思議さを感じる事ができたか。															
発展		○野外活動や自然観察の延長として、創作活動を取り入れてもよい。															